

LEDの入荷検査に

小型分光放射計

BTS256-LED

基板上のLEDの光束・
スペクトル・色・
演色評価指数を測定



この製品の
Webページへ!



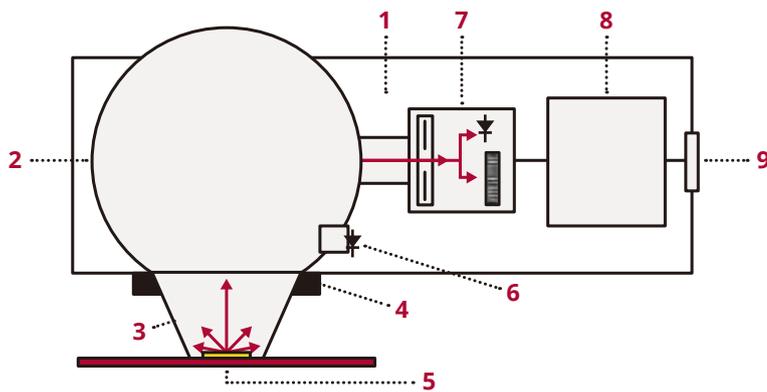
特長	ハンディサイズ / 積分球を内蔵 / 2種類のセンサー (PDとCMOSアレイ) の相互補正による正確な測定 / 光束 (lm) 計測用の高速データロガー* / ソフトウェア付属
測定範囲	光束: 10 mlm - 1100 lm / 波長: 360 nm - 830 nm / 帯域幅: 5 nm (CIE214に基づくスペクトル帯域補正)
校正	国際校正基準にトレーサブル

*光束の測定時間: 0.1 ~ 6000 ミリ秒

LEDの光度測定の仕様は、一般照明や自動車照明などの用途において、非常に厳しい条件をクリアする必要があります。ところがLEDの製造公差は、使用者が希望する公差よりも大きくなる可能性があります。光の強度と色による分類(ビンニング)がLEDの製造元から提供されますが、実際の動作条件が出荷時のテストの条件と異なっていれば意味がありません。そのため、LEDを製品に組み込むユーザーには、光学特性を正確に、そして現場での使用条件に即して測定できるデバイスが必要です。

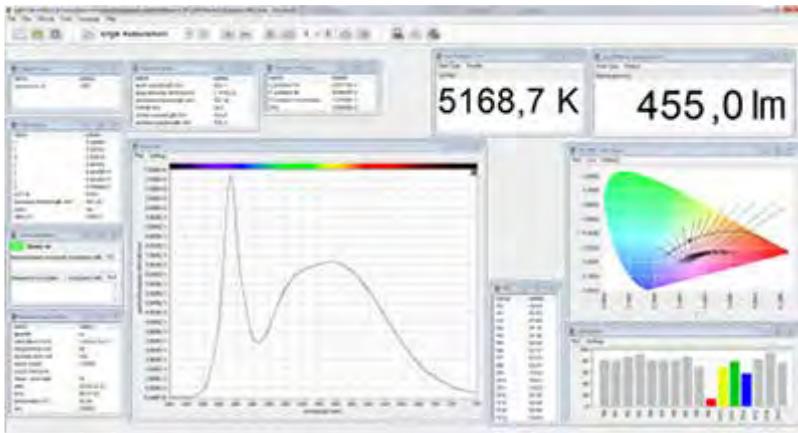
BTS256-LEDを使用すると、LEDの光束・スペクトル・色・演色評価指数を簡単に数秒以内で測定できます。基板に実装した状態でLEDを測定ができるので、熱影響を含めた測定が可能です。入荷するLEDの検査や製造プロセスの品質管理に最適。LED機器の開発・設計でも非常に役立ちます。

測定のしくみ



- 1 BTS256-LEDの筐体
- 2 50mmの積分球
- 3 円錐状の入力ポート(開口 10mm)
- 4 バヨネットマウント
- 5 テストするLED
- 6 リモート制御の補助ランプ
- 7 Siフォトダイオード、CMOSアレイ分光器、シャッター
- 8 マイクロプロセッサ
- 9 USBポートでPCと接続、ソフトウェアで本体を制御、データを表示・記録

付属ソフトウェア



Windows対応の基本ソフトウェアでデータを表示、保存、エクスポート。

測定ウィンドウの表示やレイアウトをユーザーで自由に設定、保存。

積分球の自己吸収補正 (self-absorbtion correction)。

LEDの入荷検査項目の設定と編集。

➔ 検査結果を FAIL / PASS で表示。

* ソフトウェア開発キット (SDK) は別売りです。
SDKは、C/C++, Visual Basic, Labview に対応。

その他の仕様

マイクロプロセッサ	16ビット
電源	USBインターフェース経由で給電、 電圧：5VDC～7VDC、ピーク電流：250mA
インターフェース	USB 2.0 (タイプB USBポート)
温度範囲	動作時：(10～30)℃ 保管：(-10～50)℃
寸法	160 mm x 85 mm x 60 mm (長さ x 幅 x 高さ)
重量	500グラム

注文情報

型番	モデル	説明
15308420	BTS256-LED	分光放射計本体、USBケーブル、 開口10mm円錐状アダプター、 USBケーブル、ソフトウェア、 校正証明書、説明書、収納ケース
15298218	S-SDK-BTS256	ソフトウェア開発キット

* オプション：2π・4π測定用の外付け積分球、
ゴニオメーターについてはお問合せください。

校正

Gigahertz Optik(ギガヘルツオプティック)社は、光放射測定において30年以上の経験を持つドイツのメーカーです。同社の校正ラボは、スペクトル応答性と分光放射照度の測定でDAkkS(ドイツ認定機関)の認定を受けています。このラボですべての製品は出荷前に校正されます。測定精度を保つため、ドイツの校正ラボにて年1回の再校正をお勧めします。

